



シラバスを参照したい科目をクリックしてください。



タイトル	開講所属	時間割コード	授業科目名				主担当教員	対象年次	学期	曜日・校時	開講期間
2014年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 旧カリ科目	201405670010Q1	●人間の科学(教育相談)	和	E		内野 成美	2年,3年,4年	前期	木 5	～
2014年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 旧カリ科目	201405670010Q2	●人間の科学(教育相談)	和	E		谷口 弘一	2年,3年,4年	後期	金 3	～
2014年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 旧カリ科目	201405670010Q3	●人間の科学(対人世界の心理学)	和	E		川越 明日香	2年,3年,4年	前期	金 3	～
2014年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 旧カリ科目	201405670010Q4	●人間の科学(ライフサイクルとメンタルヘルス)	和	E		小澤 寛樹	2年,3年,4年	前期	火 3	～
2014年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 旧カリ科目	201405670010Q5	●人間の科学(仕事と健康)	和	E		楠葉 洋子	2年,3年,4年	前期	火 5	～
2014年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 旧カリ科目	201405670010Q6	●人間の科学(教育相談)	和	E		田山 淳	2年,3年,4年	前期	月 4	～
2014年度シラバス（教養教育科目）	教養教育-教養教育 旧カリ科目	201405670010Q7	●人間の科学(教育相談)	和	E		田山 淳	2年,3年,4年	後期	月 3	～





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405670010Q1	科目番号	05670010
授業科目名	●人間の科学(教育相談)		
編集担当教員	内野 成美		
授業担当教員名(科目責任者)	内野 成美		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	内野 成美		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生（クラス等）	2 年		
担当教員Eメールアドレス	soudan@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業の前後に講義室で受付ける		
授業の概要及び位置づけ	一人ひとりの児童生徒の人格形成および教育指導上の問題について、教育の場を中心に相談をおこない、本人やその親に問題解決のための援助・助言・指導・治療を行うことができる能力を身につける。		
授業到達目標	○教育相談の意義や役割について説明することができる ○実際の場面で、傾聴的に相談者の話を聞き、相談に応じることができる。 ○相談者の相談内容を整理、分析し、問題解決のための提案を行うことができる。		
授業方法（学習指導法）	講義・演習(個人及びグループ)		
授業内容	第1回 教育相談の意義について学ぶ 第2回 教育相談と生徒指導の領域について学ぶ 第3回 児童生徒理解の領域について学ぶ 第4回 児童生徒理解の方法について学ぶ 第5回 カウンセリングの基本技法について学ぶ 第6回 カウンセリングの基本技法を体験する 第7回 不登校児童生徒への理解について学ぶ 第8回 不登校児童生徒への対応について学ぶ 第9回 発達障害の児童生徒への理解について学ぶ 第10回 発達障害の児童生徒への対応について学ぶ 第11回 いじめ問題について学ぶ 第12回 学級崩壊の問題について学ぶ 第13回 危機介入について学ぶ 第14回 学級集団への援助の方法について学ぶ 第15回 学級集団への援助の方法を体験する 第16回 授業の総括（まとめ、試験を含む）		

キーワード	教育相談・生徒理解・支援の段階・カウンセリング
教科書・教材・参考書	参考書： 教育相談の理論と実際 河村茂雄 著 図書文化
成績評価の方法・基準等	定期試験（４０％） レポート（４０％） 授業への参加度・貢献度（２０％） 合計６０％以上を合格とする。
受講要件（履修条件）	教員免許状習得を目指し、意欲・関心を持って受講する学生を望む。
備考（URL）	
学生へのメッセージ	授業内容、準備学習等の資料は適宜配布する。





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405670010Q2	科目番号	05670010
授業科目名	●人間の科学(教育相談)		
編集担当教員	谷口 弘一		
授業担当教員名(科目責任者)	谷口 弘一		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	谷口 弘一		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養B棟]B-44		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	taniguti@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部本館215番研究室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	毎週金曜日15:00～16:00		
授業の概要及び位置づけ	カウンセリングとソーシャルサポートを有機的に結びつけ、効果的な援助を提供する方法について理解すること。		
授業到達目標	フォーマルなサポートであるカウンセリングとインフォーマルなサポートであるソーシャルサポートについて説明できる（①, ②, ③, ⑤, ⑥, ⑦, ⑪, ⑫）。学校・家庭場面において、効果的な援助が提供できるようになる（①, ③, ④, ⑤, ⑩, ⑬）。		
授業方法（学習指導法）	講義・実習形式（視聴覚教材、心理尺度等の実習教材、プリントを適宜使用）		
授業内容	授業内容（概要） 心理的な悩みや困難を抱えた人に対する援助には、カウンセラーなど専門家によるサポートと親密な他者など非専門家によるサポートの二つが存在する。本講義では、カウンセリングとソーシャルサポートの理論、学校・家庭場面におけるカウンセリングとサポートの実践、カウンセリングとサポートの効果を抑制する要因などについて解説する。		
	回	内容	
	1	10月3日 オリエンテーション	
	2	10月10日 カウンセリングとソーシャルサポート：地域実践心理学の観点から	
	3	10月17日 ソーシャルサポートとは何か(1)：背景・歴史	
	4	10月24日 ソーシャルサポートとは何か(2)：概念的定義・測定・効果	
	5	10月31日 ソーシャルサポートと発達(1)：量・効果・互恵性	
	6	11月7日 ソーシャルサポートと発達(2)：規定因・臨床教育的介入	
	7	11月14日 サポート関係の構築(1)：対人スキルズトレーニング実習(1)	
	8	11月21日 サポート関係の構築(2)：対人スキルズトレーニング実習(2)	

	9	11月28日 サポート関係の構築(3)：対人関係に関連した心理尺度の実施・解釈・討論
	10	12月5日 家族からのソーシャルサポート
	11	12月12日 教師からのソーシャルサポート(1)：学校におけるサポート
	12	12月19日 教師からのソーシャルサポート(2)：援助不安・被援助志向性
	13	12月26日 人はなぜカウンセリングを受けたがらないか(1)
	14	1月9日 人はなぜカウンセリングを受けたがらないか(2)
	15	1月23日 まとめ
	16	1月30日 定期試験
キーワード	カウンセリング, ソーシャルサポート, ピアサポート, スクーリングサポートネットワーク	
教科書・教材・参考書	カウンセリングとソーシャルサポートーつながり支えあう心理学ー ナカニシヤ出版	
成績評価の方法・基準等	期末試験50％ 討論・実習への貢献25％ 課題レポート25％ この他に、授業で募集する実験や調査などへの参加による学習、もしくはそれに替わる課題なども評価に加味する。	
受講要件（履修条件）	授業外学習(週平均約2時間)	
備考（URL）		
学生へのメッセージ		





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405670010Q3	科目番号	05670010
授業科目名	●人間の科学(対人世界の心理学)		
編集担当教員	川越 明日香		
授業担当教員名(科目責任者)	川越 明日香		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	川越 明日香		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養G棟]G-38		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	kawagoe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部新館2階（254-2）		
担当教員TEL	095-819-2773		
担当教員オフィスアワー	メールで相談のこと		
授業の概要及び位置づけ	自身の対人世界のありようと対人関係スタイルの成り立ちを吟味し、共に生きる関係構築の方法を実生活の中で模索することをねらいとしています。 また、将来、国際社会のリーダーとなるために、自らの成長につながる「気づき」を得ると共に、リーダーシップに必須のコミュニケーションの基礎を学びます。		
授業到達目標	（カッコ内は、対応する全学モジュール目標の番号） ・自分の対人関係スタイルを分析することができる。（①、⑫、⑬） ・関心をもった内容について、グループプレゼンテーションを適切に行うことができる。（③、⑤、⑫、⑬） ・リーダーシップ理論の変遷を記述することができる。（①、⑦） ・コミュニケーションのもつ機能について説明することができる。（⑦、⑨） ・ディベートを通して、コミュニケーション力を向上させることができる。（②、③、⑤、⑬） ・対人世界における自分の行動課題を適切にまとめることができる。（④、⑤、⑩）		
授業方法（学習指導法）	様々な対人関係のあり方を学びながら、リーダーシップやコミュニケーションについて学習します。講義と演習（グループ活動、プレゼンテーション、ディベート等）を随時取り入れています。そのため、それぞれの作業に必要な内容を事前に準備することを必須とし、授業外課題として成績評価の対象にします。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション、セルフコーチング	
	2	自己紹介（プレゼンテーション）	
	3	まとめと振り返り	
	4	様々な対人関係	
	5	グループ活動	

授業内容	6	集団の中のわたし（プレゼンテーション）
	7	まとめと振り返り
	8	リーダーシップ理論の変遷
	9	グループ活動
	10	良いリーダーシップ（プレゼンテーション）
	11	まとめと振り返り
	12	リーダーシップとコミュニケーション
	13	グループ活動
	14	リーダーに必要とされるコミュニケーション（ディベート）
	15	まとめと振り返り
	16	試験
キーワード	セルフコーチング、対人関係、リーダーシップ、コミュニケーション	
教科書・教材・参考書	教科書は指定しません。使用する教材は、その都度お知らせします。 参考資料： 人間関係の心理学 高橋恵子 東京大学出版会 2010年 コミュニケーションと対人関係 相川充・高井次郎編著 誠信書房 2010年 もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら 岩崎夏海 ダイアモンド社 2009年	
成績評価の方法・基準等	授業外課題（2点×15回）＋出席（1点×15回）＋授業内活動（15点）＋試験またはレポート（40点）＝100点のうち、60点以上を合格とします。	
受講要件（履修条件）	授業外学習に週平均2時間程度を充てること。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ		





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405670010Q4	科目番号	05670010
授業科目名	●人間の科学(ライフサイクルとメンタルヘルス)		
編集担当教員	小澤 寛樹		
授業担当教員名(科目責任者)	小澤 寛樹		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小澤 寛樹,今村 明,黒滝 直弘,木下 裕久		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-11		
対象学生（クラス等）	工学部, 環境科学部		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	医学部精神科神経科		
担当教員TEL	095-819-7291		
担当教員オフィスアワー	月水木12～13時		
授業の概要及び位置づけ	自分を取り巻くライフサイクルとメンタルヘルスの実状をまずきちんと把握し、受講者がこれからの経済活動や現代の市民としての生活などで役に立つ知識を習得してもらう事を目標としたい。		
授業到達目標	毎回のテーマは生活の中で起きうる具体的な問題であり、心理学・精神医学を（必要であれば人文科学・社会科学の知識も）通して、自分での確に把握できるようになる。そして得られた知識を、まだ知らない人に対しても正しくプレゼンテーション可能なようになる事を通じて、社会に貢献できる「新しい人、（大江健三郎）になるためのメンタル・リテラシーを身につける。		
授業方法（学習指導法）	講義プレゼンテーション資料の配布、必要に応じて映像資料をもとに展開する。各回終了毎に、講義内容に基づく出題課題への議論をもとにレポートを提出してもらい、自己の意見を練り上げる過程で理解を深める。		
授業内容	回	内容	
	1	「生きにくいと感じる貴方へ～コミュニケーションとは何か」	
	2	「私は男、それとも女？～ジェンダーを捉える視角」	
	3	「小さい時に受けた心の傷の話～PTSDを癒すために」	
	4	「統合失調症の実際」	
	5	「人が死を選ぶ時～尊厳死を考える」	
	6	「精神科医は気軽な存在～メンタルクリニック入門」	
	7	「親がボケた時、あなたはどうしますか～認知症の基礎知識」	
	8	「上手なお酒との付き合い方～依存症って怖い」	
	9	「誰かが君に恋してる～恋愛現象の脳科学」	

	10	「こだわりって病気なの？～強迫性障害を考える」
	11	「子供が普通とは違う苦悩～発達障害について」
	12	「アップダウンの激しい人たち～双極性障害の話」
	13	「私達の持つ記憶の本体とは何なのか？」
	14	「自己チューな人たち～人格障害を考える」
	15	「まとめ」
	16	
キーワード	精神医学、精神疾患、メンタルヘルス、アンチスティグマ	
教科書・教材・参考書	「シネマサイキアトリー～映画からみる精神医学」（小澤寛樹監訳、中外医学社） 「標準精神医学・第5版」（野村総一郎他編、医学書院）	
成績評価の方法・基準等	講義後に提出するレポート：50％ 講義中のディスカッションへの参加態度（意欲点）：50％	
受講要件（履修条件）	本シラバスは2013年秋時点での内容であり、今後変更される可能性がある。受講予定者は履修登録時に再度本シラバスの内容を確認し、受講の有無を決定すること。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ		





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火 5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405670010Q5	科目番号	05670010
授業科目名	●人間の科学(仕事と健康)		
編集担当教員	楠葉 洋子		
授業担当教員名(科目責任者)	楠葉 洋子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	楠葉 洋子,中根 秀之,黒田 裕美		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	kusubay@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部保健学科2階		
担当教員TEL	095-819-7936		
担当教員オフィスアワー	適宜（事前にメール等で連絡をすること）		
授業の概要及び位置づけ	仕事は人間に報酬や達成感などの喜びをもたらすが健康問題にも関連している。メンタルヘルスの危機や生活習慣病などの仕事に関わる健康問題について理解する。		
授業到達目標	1. 壮年期の特徴について述べることができる。 2. 仕事をするものの意味について考えることができる。 3. 雇用環境・労働環境について述べることができる。 4. 仕事と生活習慣病の因果関係について述べることができる。 5. 病気を持ちながら仕事を継続している人々のセルフマネジメントについて述べることができる。 6. メンタルヘルスのあり方について考えることができる。 7. 働く人々の健康の実態を知り、仕事を継続する上での望ましい健康術について考えることができる。		
授業方法（学習指導法）	講義、演習（個人学習、グループ学習）、学習内容の発表、討論などをまじえながら学習を進める。		
	回	内容	
	1	授業ガイダンス、労働人口の特徴（楠葉）	
	2	仕事を持ち働くことの意味を考える（楠葉）	
	3	雇用環境・労働環境の実態（1）（楠葉）	
	4	雇用環境・労働環境の実態（2）（楠葉）	
	5	雇用環境・労働環境の実態（3）（楠葉）	
	6	仕事と生活習慣病：糖尿病（黒田）	
	7	仕事と生活習慣病：虚血性心疾患（黒田）	

授業内容	8	仕事と腰痛、VDT作業と健康（黒田）
	9	病気を持ちながら仕事を継続するためのセルフマネジメント（楠葉）
	10	仕事とメンタルヘルス（１）：（中根）
	11	仕事とメンタルヘルス（２）：（中根）
	12	働く人々の健康の実態と労働衛生（１）：（楠葉）
	13	働く人々の健康の実態と労働衛生（２）：（楠葉）
	14	働く人々の健康の実態と労働衛生（３）：（ゲストスピーカー：長岡清子）企業における健康管理、“ものづくり”における健康管理
	15	働く人々の健康術：サラリーマンの健康術について考える（楠葉）
	16	まとめ:課題学習；最終レポート課題の提出
キーワード	仕事、壮年期、労働環境、生活習慣病、メンタルヘルス、セルフマネジメント、労働衛生	
教科書・教材・参考書	配布資料、参考書等については適宜紹介する。	
成績評価の方法・基準等	授業への貢献度、レポート課題等を基に総合的に評価する。評価方法の詳細は授業ガイダンスで説明する。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ		





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405670010Q6	科目番号	05670010
授業科目名	●人間の科学(教育相談)		
編集担当教員	田山 淳		
授業担当教員名(科目責任者)	田山 淳		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田山 淳		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生（クラス等）	2年生		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー			
授業の概要及び位置づけ	本授業では、教育相談の理論や歴史を中心とした基礎的知識を学習する。基礎的知識に加え、教育現場等で必要な相談に関する技法をいくつか学習する。		
授業到達目標	個々の児童・生徒の悩みに対応できる知識とスキルを身につける。		
授業方法（学習指導法）	講義形式（一部実習形式）		
授業内容	1. 教育相談の歴史と意義 2. 学校における教育相談体制と相談の進め方 3. 児童・生徒の発達に応じた教育相談 4. 児童・生徒が抱える心の問題の種類 5. 心の問題を明らかにする方法（1） 6. 心の問題を明らかにする方法（2） 7. 来談者中心カウンセリングについて（1） 8. 来談者中心カウンセリングについて（2） 9. 行動療法・行動カウンセリングについて（1） 10. 行動療法・行動カウンセリングについて（2） 11. グループエンカウンターについて 12. 心理教育について 13. 保護者への教育相談 14. 各種関係機関との連携 15. 総括 16. テスト		
キーワード	教育相談、来談者中心カウンセリング、行動療法・行動カウンセリング		
	<教科書> ・授業内で配布するプリントを利用する。 <参考書> ・よくわかる教育相談－やわらかアカデミズム・わかるシリーズ－：春日井 敏之（編集）、伊		

教科書・教材・参考書	藤 美奈子 (編集)、ミネルヴァ書房、2011 ・図で理解する生徒指導・教育相談：佐々木 雄二 (著)・笠井仁 (著)、福村出版、2010 ・教育相談・学校精神保健の基礎知識：大芦 治 (著)、ナカニシヤ出版、2008 ・相談活動に生かせる15の心理技法：「月刊学校教育相談」編集部 (編集)、ほんの森出版、2004 ・教育相談－教師教育テキストシリーズ－：広木 克行 (編集)、学文社、2008 ・教育相談の理論と実際－よりよい教育実践をめざして：河村 茂雄、図書文化社、2012 ・教育相談入門－こころの科学叢書－：高野久美子、日本評論社、2012
成績評価の方法・基準等	1) 試験の結果30％ 2) レポート・提出物40％ 3) 出席および授業態度30％
受講要件（履修条件）	
備考（URL）	
学生へのメッセージ	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405670010Q7	科目番号	05670010
授業科目名	●人間の科学(教育相談)		
編集担当教員	田山 淳		
授業担当教員名(科目責任者)	田山 淳		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田山 淳		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-33		
対象学生（クラス等）	2年生		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー			
授業の概要及び位置づけ	本授業では、教育相談の理論や歴史を中心とした基礎的知識を学習する。基礎的知識に加え、教育現場等で必要な相談に関する技法をいくつか学習する。		
授業到達目標	個々の児童・生徒の悩みに対応できる知識とスキルを身につける。		
授業方法（学習指導法）	講義形式（一部実習形式）		
授業内容	1. 教育相談の歴史と意義 2. 学校における教育相談体制と相談の進め方 3. 児童・生徒の発達に応じた教育相談 4. 児童・生徒が抱える心の問題の種類 5. 心の問題を明らかにする方法（1） 6. 心の問題を明らかにする方法（2） 7. 来談者中心カウンセリングについて（1） 8. 来談者中心カウンセリングについて（2） 9. 行動療法・行動カウンセリングについて（1） 10. 行動療法・行動カウンセリングについて（2） 11. グループエンカウンターについて 12. 心理教育について 13. 保護者への教育相談 14. 各種関係機関との連携 15. 総括 16. テスト		
キーワード	教育相談、来談者中心カウンセリング、行動療法・行動カウンセリング		
	<教科書> ・授業内で配布するプリントを利用する。 <参考書> ・よくわかる教育相談－やわらかアカデミズム・わかるシリーズ－：春日井 敏之（編集）、伊		

教科書・教材・参考書	藤 美奈子 (編集)、ミネルヴァ書房、2011 ・図で理解する生徒指導・教育相談：佐々木 雄二 (著)・笠井仁 (著)、福村出版、2010 ・教育相談・学校精神保健の基礎知識：大芦 治 (著)、ナカニシヤ出版、2008 ・相談活動に生かせる15の心理技法：「月刊学校教育相談」編集部 (編集)、ほんの森出版、2004 ・教育相談－教師教育テキストシリーズ－：広木 克行 (編集)、学文社、2008 ・教育相談の理論と実際－よりよい教育実践をめざして：河村 茂雄、図書文化社、2012 ・教育相談入門－こころの科学叢書－：高野久美子、日本評論社、2012
成績評価の方法・基準等	1) 試験の結果30％ 2) レポート・提出物40％ 3) 出席および授業態度30％
受講要件（履修条件）	
備考（URL）	
学生へのメッセージ	





シラバスを参照したい科目をクリックしてください。



タイトル	開講所属	時間割コード	授業科目名				主担当教員	対象年次	学期	曜日・校時	開講期間
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 旧カリ科目	201405670030Q1	●生体の機能(エイズと性感染症)	和	E		西田 教行	2年,3年,4年	前期	木 3	～
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 旧カリ科目	201405670030Q2	●生体の機能(免疫と病気)	和	E		由井 克之	2年,3年,4年	前期	金 3	～
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 旧カリ科目	201405670030Q3	●生体の機能(薬との賢い付き合い方)	和	E		植田 弘師	2年,3年,4年	後期	木 3	～
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 旧カリ科目	201405670030Q4	●生体の機能(食の科学)	和	E		齋藤 俊行	2年,3年,4年	後期	月 4	～





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405670030Q1	科目番号	05670030
授業科目名	●生体の機能(エイズと性感染症)		
編集担当教員	西田 教行		
授業担当教員名(科目責任者)	西田 教行		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西田 教行		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養G棟]G-38		
対象学生（クラス等）	教育、経済、水産		
担当教員Eメールアドレス	noribaci@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	感染分子解析学		
担当教員TEL	095-819-7059		
担当教員オフィスアワー	木曜午後5時以降		
授業の概要及び位置づけ	HIV感染・エイズについての諸問題を考える。また他の性感染症の実態と対策について学ぶ。		
授業到達目標	情報を集取できる 情報の信頼性を吟味できる 情報をもとに論理的考察ができる 異なるアプローチを理解できる 異なる意見、考え方を理解し議論できる		
授業方法（学習指導法）	アクティブラーニングを中心に行う。テーマについて各自情報を集取し、分析、発表を行う。 グループ学習を行う。講義時間は主にディスカッションの時間とする。		
授業内容	回	内容	
	1	講義オリエンテーション、概要説明、グループ分け、サブテーマ決め	
	2	HIVグループ発表準備、グループディスカッション	
	3	HIVグループ発表（1）、ディスカッション	
	4	HIVグループ発表（2）、ディスカッション	
	5	全体討論	
	6	HIVグループ発表（3）、ディスカッション	
	7	HIVグループ発表（4）、ディスカッション	
	8	HIVグループ発表（5）、ディスカッション	
	9	性感染症グループ発表（1）、ディスカッション	

	10	性感染症グループ発表（２）、ディスカッション
	11	性感染症グループ発表（３）、ディスカッション
	12	レポート作成準備
	13	レポート作成指導
	14	レポート作成指導
	15	最終個人発表会（１）
	16	最終個人発表会（２）
キーワード	エイズ、HIV、性感染症	
教科書・教材・参考書	参考図書（推薦本） 薬害エイズ「無罪判決」、どうしてですか？：桜井よしこ他 エイズを知る：エイズ&ソサエティ研究会議 感染症は世界史を動かす：岡田晴恵 エイズ[ウイルスの起源と進化]：山本太郎訳、Jaap Goudsmit 著 エマージングウイルスの世紀：山内一也 血液の歴史：ダグラス・スター著、山下篤子訳	
成績評価の方法・基準等	レポート70点 発表30点 尚、詳細は変更することがある	
受講要件（履修条件）	先進医学と現在社会モジュールⅠに合格し、医学生物学の基本的な知識をある程度有すること。	
備考（URL）	http://www.med.nagasaki-u.ac.jp/mmi/cmb/index.html	
学生へのメッセージ		





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405670030Q2	科目番号	05670030
授業科目名	●生体の機能(免疫と病気)		
編集担当教員	由井 克之		
授業担当教員名(科目責任者)	由井 克之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	由井 克之,本間 季里,阿比留 教生,一瀬 邦弘		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生（クラス等）	教育、経済、水産		
担当教員Eメールアドレス	katsu@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医歯薬学総合研究科・感染免疫学講座・免疫機能制御学分野		
担当教員TEL	819-7070		
担当教員オフィスアワー	12-13時		
授業の概要及び位置づけ	社会人として生活していく上で必要な医学的な知識を身につけること。特に感染から体を守る免疫系と、その異常による病的側面を中心に体の不思議な仕組みについて学ぶ。		
授業到達目標	感染等異物から体を守る免疫系の基本的な仕組みについて説明できる。 免疫系の異常による病気について、その種類と原因の概要を説明できる。		
授業方法（学習指導法）	講義形式を主体とする。適宜課題を出し、またグループ毎の学生発表会等を開催して学生の授業への積極的な参加を促す。 身近な問題から始めて、免疫学の基本が理解できるように進める。		
授業内容	回	内容	
	1	導入、伝染病と二度なし（担当：由井）	
	2	二度なしの原理（担当：由井）	
	3	抗体（担当：由井）	
	4	グループ発表会（担当：由井）	
	5	アレルギーⅠ（担当：本間）	
	6	アレルギーⅡ：プレゼンテーションと質問（担当：本間）	
	7	ガンⅠ（担当：本間）	
	8	ガンⅡ：プレゼンテーションと質問（担当：本間）	
	9	免疫不全症Ⅰ（担当：本間）	
	10	免疫不全症Ⅱ：プレゼンテーションと質問（担当：本間）	
	11	免疫が自分を攻撃する病気とは？（担当：一瀬）	

	12	生活習慣病ではない糖尿病、免疫で起こる糖尿病とは？（担当：阿比留）
	13	免疫病にはどのような治療法があるのか？（担当：一瀬・岩本）
	14	免疫と神経・筋疾患（担当：阿比留・中嶋）
	15	総まとめ（担当：由井）
	16	予備
キーワード	抗体、白血球、感染	
教科書・教材・参考書	小安重夫著「免疫学はやっぱりおもしろい」羊土社2008年	
成績評価の方法・基準等	筆記試験（60％）。 授業中に行う課題レポート及び小テスト（40％）。	
受講要件（履修条件）	先進医学と現在社会モジュールⅠに合格し、医学生物学の基本的な知識をある程度有すること。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ		





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木 3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405670030Q3	科目番号	05670030
授業科目名	●生体の機能(薬との賢い付き合い方)		
編集担当教員	植田 弘師		
授業担当教員名(科目責任者)	植田 弘師		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	植田 弘師,松永 隼人		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養C棟]C-16		
対象学生（クラス等）	全学部		
担当教員Eメールアドレス	ueda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	薬学部4階 分子薬理学研究室		
担当教員TEL	095-819-2421		
担当教員オフィスアワー	水曜日12:00~12:50（事前にメールで連絡のこと）		
授業の概要及び位置づけ	薬の消費者として薬と賢く付き合うためには、薬に関する理解を深めることが必要である。本講義では、「痛み：疼痛」の医学的な基礎を理解するとともに、「痛みと社会」という切り口から自主的に課題を決定し、学ぶことをねらいとする。		
授業到達目標	興味ある課題を自分でみつけることができる。（目標①⑦⑨⑪⑫） 必要な情報を適切に収集し分析することができる。（目標①④⑦⑨⑪⑫） 自分の意見を積極的に表現することができる。（目標①②③④⑤⑫⑬） 他者との意見交換を建設的に行うことができる。（目標①②③④⑤⑫⑬） 主体的な学習の基礎知識を習得し、効果的に活用できる。（目標①③④⑤⑦⑫） 学問の技法について理解を深める。（目標⑦⑨） 他人の価値観を寛容できる。（目標⑪⑫⑬）		
授業方法（学習指導法）	教科書、資料の内容に沿った講義、教員、TAを交えた討論により基礎知識を修学する。学生による基礎知識、自主学習に対するプレゼンテーションを行い、質疑応答の結果を踏まえて、報告レポートを作成し、提出する。		
	人間にとって最も不快な症状のひとつである痛みを取り上げ、痛みの種類、しくみ、治療薬といった医学的な基礎を理解する。また、「痛みと社会」について主体的な自主学習を行う。最終的に、基礎知識と自主学習に対しての学習成果をプレゼンテーションし、質疑応答を踏まえてレポートを提出する。		
	回	内容	
	1	痛みについての基礎知識Ⅰ、学習テーマの提案・決定	
	2	痛みについての基礎知識Ⅱ	
	3	痛みについての基礎知識Ⅲ	
	4	基礎知識の学習テーマごとの打合せⅠ	

授業内容	5	基礎知識の学習テーマごとの打合せII
	6	基礎知識の学習テーマごとの打合せIII
	7	基礎知識に対するプレゼンテーション、質疑応答I
	8	基礎知識に対するプレゼンテーション、質疑応答II
	9	基礎知識プレゼンテーションに対する議論、評価コメント、レポート提出
	10	痛みと社会の学習テーマの提案・決定、テーマごとの打合せI
	11	痛みと社会の学習テーマごとの打合せII
	12	痛みと社会の学習テーマごとの打合せIII
	13	痛みと社会に対するプレゼンテーション、質疑応答I
	14	痛みと社会に対するプレゼンテーション、質疑応答II
	15	痛みと社会プレゼンテーションに対する議論、評価コメント、レポート提出
	16	
キーワード	薬の効果、薬の働き、副作用、生体の機能、病気、痛み、鎮痛薬	
教科書・教材・参考書	教科書：はじめての痛み学（おうふう）	
成績評価の方法・基準等	考査（30％）、授業に対する積極的な取り組み状況（70％）	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	教科書を熟読すること。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月 4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405670030Q4	科目番号	05670030
授業科目名	●生体の機能(食の科学)		
編集担当教員	齋藤 俊行		
授業担当教員名(科目責任者)	齋藤 俊行		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	齋藤 俊行,北村 雅保,宮崎 敏博,久松 徳子		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生（クラス等）	工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス	syto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	歯学部 口腔保健学		
担当教員TEL	095-819-7662		
担当教員オフィスアワー	水曜日17-18時		
授業の概要及び位置づけ	食えることは生きる事そのものである。その入り口である「口腔と歯」は生きる事の入力口である。食に関連した人体の構造、機能とその異常を示す疾患について、また栄養学的、予防医学的な観点から教養を深める。		
授業到達目標	食に関連した人体の構造、機能とその異常、疾患について予防医学的な観点から説明できる。		
授業方法（学習指導法）	講義、セミナー以外に、テーマを自分で考えあるいは与えられ、それについて調べてプレゼンテーションとディスカッションを行なう。受講人数によって方法は異なってきます。		
	食に関連した人体の構造、機能とその異常、疾患について、また栄養学、予防医学について。		
	1) 口腔咽頭の解剖学1～4（宮崎） 2) 口腔咽頭の機能1～4（久松） 3) 食と健康1～4（北村） 4) 口腔と肥満1～3（齋藤）		
	参考歯学部ホームページ 【口腔保健学：齋藤，北村】 http://www.de.nagasaki-u.ac.jp/education/dept_oh.html 【細胞生物学：宮崎】 http://www.de.nagasaki-u.ac.jp/education/dept_cb.html 【特殊歯科総合治療部：久松】 http://www.de.nagasaki-u.ac.jp/education/dept_gcsd.html		
	回	内容	
	1	宮崎敏博：口腔咽頭の解剖学1 9/29 咀嚼と嚥下に関わる構造（講義）	
	2	宮崎敏博：口腔咽頭の解剖学2 10/6 消化管の構造（講義）	
	3	宮崎敏博：口腔咽頭の解剖学3	

授業内容		10/20 咀嚼と嚥下のしくみ（学生によるプレゼンテーション）
	4	宮崎敏博：口腔咽頭の解剖学4 10/27 歯と唾液腺と舌の働き（学生によるプレゼンテーション）
	5	久松徳子：口腔咽頭の機能1 11/10 嚥下って何？
	6	久松徳子：口腔咽頭の機能2 11/17 嚥下が悪くなると何が問題？
	7	久松徳子：口腔咽頭の機能3 12/1 嚥下機能はどうしたら保てる？悪くなったらどうしたらいい？
	8	久松徳子：口腔咽頭の機能4 12/8 嚥下食って何？
	9	北村雅保：食と健康1 12/15 食品の機能性～食べる者と食べられる物
	10	北村雅保：食と健康2 12/22 日本人の食事摂取基準と保健機能食品制度
	11	北村雅保：食と健康3 1/5 特定保健用食品各論～むし歯と食品
	12	北村雅保：食と健康4 1/19 特定保健用食品各論～生体調節機能
	13	齋藤俊行：口腔と肥満1 1/26 口腔疾患（う蝕と歯周病）とその予防
	14	齋藤俊行：口腔と肥満2 1/27 口腔と生活習慣病（この日のみ振替で火曜日）
	15	齋藤俊行：口腔と肥満3 2/2 食と肥満
	16	予備
キーワード	口腔、咽頭、摂食嚥下、食事、栄養、健康、肥満、ダイエット、生活習慣病、予防医学	
教科書・教材・参考書	特にありませんが資料配布を行ないます。	
成績評価の方法・基準等	プレゼンテーションやレポートの提出および試験を考えてますが、受講者数によります。	
受講要件（履修条件）	特になし。	
備考（URL）	http://www.de.nagasaki-u.ac.jp/index_j.html	
学生へのメッセージ		





シラバスを参照したい科目をクリックしてください。



タイトル	開講所属	時間割コード	授業科目名				主担当教員	対象年次	学期	曜日・校時	開講期間
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 旧カリ科目	201405670050Q1	●生命の科学(話題の先進医学)	和	E		工藤 崇	2年,3年,4年	後期	木 4	～
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 旧カリ科目	201405670050Q2	●生命の科学(伝承薬から最先端医薬品まで)	和	E		尾野村 治	2年,3年,4年	前期	木 4	～
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 旧カリ科目	201405670050Q3	●生命の科学(疾病と薬物治療)	和	E		中嶋 幹郎	2年,3年,4年	前期	金 3	～
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 旧カリ科目	201405670050Q4	●生命の科学(老いと健康)	和	E		井口 茂	2年,3年,4年	後期	火 4	～
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 旧カリ科目	201405670050Q5	●生命の科学(先端医療・再生医療)	和	E		朝比奈 泉	2年,3年,4年	前期	火 4	～
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 旧カリ科目	201405670050Q6	●生命の科学(医療現場の安全と安心)	和	E		橋爪 真弘	2年,3年,4年	後期	月 5	～





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木 4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405670050Q1	科目番号	05670050
授業科目名	●生命の科学(話題の先進医学)		
編集担当教員	工藤 崇		
授業担当教員名(科目責任者)	工藤 崇		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	工藤 崇		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-11		
対象学生（クラス等）	全学生		
担当教員Eメールアドレス	tkudo123@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	原爆後障害医療研究所 原研放射		
担当教員TEL	095-819-7101		
担当教員オフィスアワー	16:00-17:00		
授業の概要及び位置づけ	現代の医学としてどのようなものが行われているかを知るとともに、医学が工学、数学、理学などの他学問との密接な関係で成り立っていることを知り、応用発展を考える。なお、本授業でいう「先進医学」とは法的に定義された用語としての「先進医療」ではなく、進んだ医療・近代的な医療・医学という意味です。		
授業到達目標	医療における医学・生物学とそれ以外の学問領域との関連を理解する。		
授業方法（学習指導法）	様々な医学の技術、診断、治療法を講義を通して知る。それとともに、それらの医療技術のためには医学・生物学以外にどのような領域の知識が必要とされるかを自習・発表・討論を通して考察する		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	診断学と放射線	
	3	X線を用いた画像診断	
	4	X線を用いない画像診断(MRI)	
	5	放射性同位元素を用いた診断	
	6	統計学と画像	
	7	放射線と治療	
	8	グループ学習：物理学と医療	
	9	歯学・歯科理工学を学ぶ前に必要な知識	
	10	歯学と材料工学	
	11	感覚器先進医学を学ぶ前に必要な知識	

	12	耳鼻科先進医学と工学
	13	眼科の先進医学と光学
	14	グループ学習：医学以外の学問を医学に応用するには
	15	グループ学習発表
	16	
キーワード	近代医学、先進医療、医学、統計学、工学、数学	
教科書・教材・参考書	特定の教科書は必要としない。適宜、プリント・資料を配付する。	
成績評価の方法・基準等	2/3以上の出席。グループ学習、発表、討論は全出席。レポートの提出を義務づける。	
受講要件（履修条件）	原則として、全回出席。予習を十分に行い、討論の時間には積極的な発言が望まれる。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	時々、新聞記事、ネットなどを用いて現代の医学についての予習を要求します。また、得られた知識を用いてどのような新たな先進医学が可能であるか、考え発表してもらいます。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405670050Q2	科目番号	05670050
授業科目名	●生命の科学(伝承薬から最先端医薬品まで)		
編集担当教員	尾野村 治		
授業担当教員名(科目責任者)	尾野村 治		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	尾野村 治,栗山 正巳		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-11		
対象学生（クラス等）	2・3・4年次		
担当教員Eメールアドレス	尾野村: onomura@nagasaki-u.ac.jp, 栗山: mkuriyam@		
担当教員研究室	薬学部 医薬品合成化学研究室		
担当教員TEL	095-819-2429		
担当教員オフィスアワー	月-金 15:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ	我々の身の回りにある医薬品は化学物質で構成されている。化学物質は原子から出来ており、医薬品の作用機構など生命現象の多くは化学の言葉で語ることが可能である。高校の受験科目としての化学ではなく、生きた化学を理解し、医薬品の化学を通して化学を面白く感じるようになることが授業の狙いである。		
授業到達目標	人類の病気との戦いの歴史は、医薬品創製の歴史でもある。経験的に見出された伝承薬、天然物から発見された医薬品、そしてコンピューターによってデザインされた医薬品など、様々な医薬品はどのようにして合成し供給されるのか。幾つかの医薬品を例にとり、化学が医薬品開発に果たしてきた役割を学ぶ。		
授業方法（学習指導法）	医薬品をテーマにして化学の視点から調査研究を行う。各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画についてディスカッションし、その検討結果を発表する。各グループ別に、報告をパワーポイントを用いた発表形式で行う。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポートを作成し、提出する。		
授業内容	回	内容	
	1	テーマの提示とグループ分け（1）	
	2	グループ内での調査（1）	
	3	グループ内での調査（2）	
	4	進捗状況の報告と意見交換（1）	
	5	中間プレゼンテーション（1）	
	6	グループ内での調査（3）	
	7	進捗状況の報告と意見交換（2）	
	8	グループプレゼンテーション、全体討論（1）	

	9	テーマの提示とグループ分け（2）
	10	グループ内での調査（4）
	11	進捗状況の報告と意見交換（3）
	12	中間プレゼンテーション（2）
	13	グループ内での調査（5）
	14	進捗状況の報告と意見交換（4）
	15	グループプレゼンテーション、全体討論（2）
	16	報告レポート提出、総括
キーワード	医薬品、化学合成、天然物	
教科書・教材・参考書	授業中に適宜指定する。	
成績評価の方法・基準等	積極的授業参加態度（40％）、グループプレゼンテーションの発表内容および報告レポート（60％）	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ		





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405670050Q3	科目番号	05670050
授業科目名	●生命の科学(疾病と薬物治療)		
編集担当教員	中嶋 幹郎		
授業担当教員名(科目責任者)	中嶋 幹郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中嶋 幹郎		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-11		
対象学生（クラス等）	2,3,4年次		
担当教員Eメールアドレス	mikirou@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	薬学部2階 病院薬学研究室		
担当教員TEL	095-819-2459		
担当教員オフィスアワー	月～金 9:00～17:00		
授業の概要及び位置づけ	神経疾患、糖尿病、肥満、メタボリックシンドロームなどについて、疾患の概念や代表的な治療法（薬物治療法を含む）について学ぶ。特に治療薬がどこに効いて、どのように改善することで、疾患が治るのかを理解してもらう。		
授業到達目標	興味のある課題を自分でみつけることができる。（技能・表現） 必要な情報を適切に収集し分析することができる。（技能・表現） 自分の意見を積極的に表現することができる。（技能・表現） 他者との意見交換を建設的に行うことができる。（技能・表現） 主体的な学習のための基礎知識を習得し、効果的に活用できる。（知識・理解） 学習の技法について理解を深める。（態度・志向性） 他者の価値観を寛容できる。（態度・志向性）		
授業方法（学習指導法）	KJ法を用いたグループ討論を中心に授業を進める。		
授業内容	それぞれの疾患の概念や病態および治療法を学びながら、代表的な治療薬の作用部位や作用機序を知り、最終的に治癒していく仕組みを学ぶ。特に薬物の体内での動き方や薬物が効く仕組みの基礎を学ぶ。随時、学習成果を発表する。		
	回	内容	
	1	オリエンテーションとKJ法を知る	
	2	代表的な神経疾患の原因・診断・病態・治療①	
	3	代表的な神経疾患の原因・診断・病態・治療②	
	4	代表的な神経疾患の原因・診断・病態・治療③	
	5	神経疾患との付き合い方	
	6	糖尿病の原因・診断・病態・治療①	
	7	糖尿病の原因・診断・病態・治療②	

	8	糖尿病の原因・診断・病態・治療③
	9	メタボリックシンドロームの原因・診断・病態・治療①
	10	メタボリックシンドロームの原因・診断・病態・治療②
	11	メタボリックシンドロームの原因・診断・病態・治療③
	12	肥満と社会①
	13	肥満と社会②
	14	ディベート
	15	プレゼンテーションと総括
	16	
キーワード	神経疾患、糖尿病、肥満、メタボリックシンドローム、治療薬、薬物体内動態	
教科書・教材・参考書	なし	
成績評価の方法・基準等	授業内の課題25点、授業外の課題25点、発表25点、レポート25点の計100点満点中60点以上を合格とする。	
受講要件（履修条件）	週平均2時間以上は授業外学習に充てること。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	毎回、課題を与えるので必ず予習してくること。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火 4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405670050Q4	科目番号	05670050
授業科目名	●生命の科学(老いと健康)		
編集担当教員	井口 茂		
授業担当教員名(科目責任者)	井口 茂		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	井口 茂,横尾 誠一,田中 浩二		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生（クラス等）	選択 全学		
担当教員Eメールアドレス	井口 茂 / shigeru@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	保健学科3階 井口教員室		
担当教員TEL	井口茂 095-819-7962		
担当教員オフィスアワー	火曜日 18:00～19:30		
授業の概要及び位置づけ	高齢者の加齢に伴う身体・心理的变化、環境への適応能力など生理的及び社会的変化を学び、高齢者に対するケアのあり方について議論していく。		
授業到達目標	・高齢者の心身の変化を理解する。（①⑦） ・高齢者の社会的背景を理解する。（②⑦） ・高齢者に対する希有の現象を理解する。（③⑤⑫）		
授業方法（学習指導法）	PCプレゼンテーションを中心とした講義ならびに演習、ケアの現場見学、グループワーク、プレゼンテーション、討論を通じて自ら考え、行動する学習法を身につける。		
授業内容	第 1回 ガイダンス及び高齢者が抱える健康及び生活課題（井口） 第 2回 知っておこう！介護保険（井口・横尾・田中） 第 3回 介護予防とは（井口・横尾・田中） 第 4回 高齢者支援－自助・互助・公助－（井口・横尾・田中） 第 5回 高齢者の特徴的な病気と看護（横尾・井口・田中） 第 6回 高齢者の寝たきりと廃用症候群（横尾・井口・田中） 第 7回 高齢者の緩和ケア（横尾・井口・田中） 第 8回 高齢者と家族（横尾・井口・田中） 第 9回 認知症とは（田中・井口・横尾） 第10回 認知を予防する（田中・井口・横尾） 第11回 認知症の方へのケアとリハビリテーション（田中・井口・横尾） 第12回 認知症の方を地域で支える（田中・井口・横尾） 第13回 見学オリエンテーション・準備（演習及びグループワーク） 第14回 見学日（演習及びグループワーク） 第15回 課題発表（グループワーク及びプレゼンテーション、討論） 第16回 定期試験		
キーワード	高齢者、健康、ケア、介護保険、住民活動		
教科書・教材・参考書	教科書・教材・参考書：特になし・必要に応じて資料を配付する		

成績評価の方法・基準等	試験（40％）、課題発表（30％）、レポート（20％）、授業参加度（10％）
受講要件（履修条件）	復習時間として週 1 時間以上を要する
備考（URL）	
学生へのメッセージ	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火 4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405670050Q5	科目番号	05670050
授業科目名	●生命の科学(先端医療・再生医療)		
編集担当教員	朝比奈 泉		
授業担当教員名(科目責任者)	朝比奈 泉		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	朝比奈 泉,住田 吉慶		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-12		
対象学生（クラス等）	1年2年3年4年		
担当教員Eメールアドレス	asahiana@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	顎・口腔再生外科学分野		
担当教員TEL	095-819-7701		
担当教員オフィスアワー	17～19時		
授業の概要及び位置づけ	再生医療の基礎となる生物の基本的構成・発生のしくみ、幹細胞について理解し実際に開発が進められている口腔領域の先端医療・再生医療に付いての知識を深める。		
授業到達目標	生物の構造、発生の基本的知識を身につけ、幹細胞、再生医療について説明できる。		
授業方法（学習指導法）	それぞれのテーマについて、パワーポイントを使った概論的講義をおこなった後、いくつかの小テーマについてグループ討論をおこない、発表する。		
授業内容	回	内容	
	1	イントロダクション：授業の進め方、授業内容の概説、授業に対する準備法、成績評価法について説明する（担当；朝比奈）	
	2	生物の構造とでき方の仕組み（1回目；講義）：細胞からなる生物の階層性、細胞の構造、遺伝子の構造と機能、生物の発生について（担当；朝比奈）	
	3	生物の構造とでき方の仕組み（2回目；グループ討議と発表）（担当；朝比奈）	
	4	組織工学とは何か（1回目；講義）；Tissue Engineering Triad、人工材料の性質と作り方について（担当；住田）	
	5	組織工学とは何か（2回目；グループ討議と発表）（担当；住田）	
	6	幹細胞の不思議（1回目；講義）：幹細胞の種類、胎性幹細胞、性幹細胞、ips幹細胞、について（担当；朝比奈）	
	7	幹細胞の不思議（2回目；グループ討議と発表）（担当；朝比奈）	
	8	唾液腺の再生医療（1回目；講義）：唾液腺の構造、機能、発生、疾患、再生法について（担当；住田）	
	9	唾液腺の再生医療（2回目；グループ討議と発表）（担当；住田）	
		骨組織の再生医療（1回目；講義）：骨組織の構造、機能、発生、再生法について（担	

	10	当；住田)
	11	骨組織の再生医療（2回目；グループ討議と発表）（担当；住田)
	12	粘膜・皮膚の再生医療（1回目；講義）：粘膜・皮膚の構造、機能発生、疾患、再生法について（担当；住田)
	13	粘膜・皮膚の再生医療（2回目；グループ討議と発表）（担当；住田)
	14	歯の再生医療（1回目；講義）：歯の構造と機能、発生、再生法とデンタルインプラントについて（担当：朝比奈)
	15	歯の再生医療（2回目；グループ討議と発表）（担当；朝比奈)
	16	総合討論
キーワード	再生医療・幹細胞・組織工学・発生・成長因子	
教科書・教材・参考書	参考書：再生医療叢書 全8巻 日本再生医療学会監修 朝倉書店	
成績評価の方法・基準等	最終レポート50点、グループ討議における発表50点、計100点満点で60点以上を合格とする。筆記試験は行わない。	
受講要件（履修条件）	特になし	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	グループ討議に入る前に、与えられたテーマに関する下調べを行う	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月 5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405670050Q6	科目番号	05670050
授業科目名	●生命の科学(医療現場の安全と安心)		
編集担当教員	橋爪 真弘		
授業担当教員名(科目責任者)	橋爪 真弘		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	橋爪 真弘,新川 哲子,田中 隆,田崎 修		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-33		
対象学生（クラス等）	2 年次生		
担当教員Eメールアドレス	hashizum@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	熱帯医学研究所 小児感染症学分野		
担当教員TEL	095-819-7764		
担当教員オフィスアワー	hashizum@nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ	急速なグローバル化や災害への対策が急務とされる今日の状況において、医療現場で人々の健康に関する安全と安心を維持するためにどのような対応が求められるか、総合的に理解する。		
授業到達目標	医療現場で人々の健康に関する安全と安心を維持するためにどのような対応が求められるか、自ら努力をして維持することが重要であることを認識できるようになる。		
授業方法（学習指導法）	講義を基本とする。必要に応じてアクティブラーニング手法を取り入れる。		
授業内容	1. オリエンテーション：人々の健康に関する安全と安心 2. 気候変動と感染症 3. デング熱ってなに？ 4. エイズは蚊でうつるか？：蚊と感染症 5. アフリカの暮らしと蚊 6. 緊急被ばく時における放射線リスクと危機管理 7. 放射線障害を受けた住民に対する支援活動の実際 8. 医薬品開発の歴史：くすりは毒から作られた 9. 身近な毒と、毒を克服した生物たち 10. くすりと食べ物の境界はどこか（病気の予防と治療） 11. 食とくすりの安全について考える 12. 救急医療の現状と課題 13. 災害医療の現状と課題 14. 救急医療における臓器提供と終期医療の現状と課題 15. 安心な災害医療・救急医療に向けて我々が取り組むべきこと		
キーワード	放射線リスク、災害医療、天然毒、熱帯感染症、気候変動		
教科書・教材・参考書	教科書は用いない。必要に応じて参考書を紹介する。		
成績評価の方法・基準等	授業参加度、レポート、プレゼンテーション、試験（担当者で異なる。授業の初めに連絡予定		

	）で評価する。
受講要件（履修条件）	特になし
備考（URL）	
学生へのメッセージ	





シラバスを参照したい科目をクリックしてください。



タイトル	開講所属	時間割コード	授業科目名				主担当教員	対象年次	学期	曜日・校時	開講期間
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 旧カリ科目	201405670070Q1	●人間と環境(感染症と文明)	和	E		山本 太郎	2年,3年,4年	後期	木 3	～
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 旧カリ科目	201405670070Q2	●人間と環境(環境と社会運動)	和	E		戸田 清	2年,3年,4年	前期	金 3	～
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 旧カリ科目	201405670070Q3	●人間と環境(障害体験と支援)	和	E		東 登志夫	2年,3年,4年	後期	火 3	～
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 旧カリ科目	201405670070Q4	●人間と環境(環境問題の歴史から学ぶ)	和	E		菅原 潤	2年,3年,4年	後期	金 4	～





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405670070Q1	科目番号	05670070
授業科目名	●人間と環境(感染症と文明)		
編集担当教員	山本 太郎		
授業担当教員名(科目責任者)	山本 太郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山本 太郎		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	y-taro@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	熱帯医学研究所206号室		
担当教員TEL	095-819-7869		
担当教員オフィスアワー	木曜日 16：00－18：00		
授業の概要及び位置づけ	大きく病気を適応不応から理解する		
授業到達目標			
授業方法（学習指導法）	講義＋集団学習＋プレゼン		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	生物の構成因子、セントラルドグマなど	
	3	ダーウィニズム、ラマルキズム、中立説。生態学的観点から見た感染症	
	4	現代社会での新興感染症、インフルエンザ、HIVなど	
	5	ペスト、梅毒など、感染症が歴史を変えた事例	
	6	隔離対策、抗生物質の発見、疫学研究など	
	7	ドイツ医学の導入、コレラ、海港検疫と長崎	
	8	産業化にともなう疾病構造の変化、結核、女工	
	9	戦後復興とGHQによる制度改変、アメリカの影響	
	10	個々の研究事例の紹介	
	11	個々の研究事例の紹介	
	12	テーマ発表	
	13	テーマ発表	
	14	テーマ発表	

	15	テーマ発表
	16	まとめ
キーワード		
教科書・教材・参考書	『感染症と文明』（岩波新書） 『新型インフルエンザ』（岩波新書） 『エイズの起源』（みすず書房）	
成績評価の方法・基準等	グループ発表	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）	http://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/newrect/	
学生へのメッセージ		





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405670070Q2	科目番号	05670070
授業科目名	●人間と環境(環境と社会運動)		
編集担当教員	戸田 清		
授業担当教員名(科目責任者)	戸田 清		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	戸田 清,保坂 稔		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養C棟]C-16		
対象学生（クラス等）	教育、経済、薬学、水産 2年、3年、4年		
担当教員Eメールアドレス	toda@nagasaki-u.ac.jp hosaka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部 4 階環404戸田教員室 環427保坂教員室		
担当教員TEL	戸田095-819-2726 保坂095-819-2728		
担当教員オフィスアワー	戸田金曜16－17時 保坂木曜 9 時30分－10時30分		
授業の概要及び位置づけ	公害・環境問題を環境社会学の観点から考察する。全学モジュール科目「人間と環境」の選択科目		
授業到達目標	公害・環境問題を環境社会学の観点から説明できる。企業、行政、専門家、市民の役割や対立点を説明できるようになることも目指す。		
授業方法（学習指導法）	教科書、プリント、映像などを用いて授業を行う。口頭や質問感想用紙での積極的な質問や発言を期待したい。		
授業内容	前半の7回（保坂）は環境問題の分析について環境社会的な見方を深める。後半の7回（戸田）は具体的な事例を通じて環境社会学を学ぶ。15回目はまとめ。16回目は定期試験。		
	回	内容	
	1	社会運動分析 環境社会学への誘い	
	2	社会運動論 緑の党	
	3	エコファシズム	
	4	公共圏	
	5	リスク社会論	
	6	社会的ジレンマ論	
	7	計量的な社会意識調査	
	8	水俣病 公害の原点 なぜ半世紀も混乱が続くのか	
	9	水俣病 その2	
	10	カネミ油症 40年以上かかってわずかな前進	
	11	原発事故と原発被曝労働	

	12	ベトナム枯葉作戦と劣化ウラン弾 戦争と環境破壊
	13	農業問題 特にネオニコチノイド
	14	遺伝子組み換え作物
	15	まとめ
	16	定期試験
キーワード	公共圏、リスク社会、社会的ジレンマ、オルタナティブ運動、水俣病、カネミ油症、原発事故、受益圏と受苦圏	
教科書・教材・参考書	教科書は戸田清『環境正義と平和』法律文化社2009年。参考書は適宜紹介する。プリント配布、映像の視聴を行う。	
成績評価の方法・基準等	定期試験80％、レポート20％	
受講要件（履修条件）	受講要件は特にない。	
備考（URL）	http://todakiyosi.web.fc2.com/	
学生へのメッセージ	教科書を通読すること。講義内容を図書館利用やインターネットで深めてほしい。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火 3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405670070Q3	科目番号	05670070
授業科目名	●人間と環境(障害体験と支援)		
編集担当教員	東 登志夫		
授業担当教員名(科目責任者)	東 登志夫		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	東 登志夫,中尾 理恵子,杉山 和一,北島 栄二		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生（クラス等）	2年次		
担当教員Eメールアドレス	higashi-t@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	保健学科5t階		
担当教員TEL	095-849-7994		
担当教員オフィスアワー	金曜日 9:00-12:00		
授業の概要及び位置づけ	各種障害の疑似体験等を通して障害を理解し、その支援の必要性を体感するとともに、具体的な支援の方法について学ぶ。なかでも長崎市特有の斜面地の移動障害に焦点を当てて、その支援策について討議する。		
授業到達目標	・代表的な障害を挙げることができる ・障害を持った方が抱えている生活障害を理解する ・長崎の斜面地における移動障害を理解する ・障害者を支援する各種制度の概要を理解する。 ・斜面地における移動障害を支援する具体的方法について学ぶ		
授業方法（学習指導法）	高齢者疑似体験セット、片麻痺体験セット、車いす、アイマスク等を使用して、実際の障害を体験する演習や、長崎市の斜面地とその移動支援の方法を実際に視察する。さらに、実際に障害を持った方の体験を聞くことにより、障害に対する理解を深め、その支援方法について討議する。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション、グループ分け	
	2	各種障害の理解 東	
	3	生活の中でのバリア 東	
	4	障害体験（高齢者、片麻痺、車いす、視覚障害） 東	
	5	障害体験（高齢者、片麻痺、車いす、視覚障害） 東	
	6	障害体験（高齢者、片麻痺、車いす、視覚障害） 東	
	7	障害体験（高齢者、片麻痺、車いす）発表階とグループ討議 東	
	8	斜面地探索（フィールドワーク）	

	9	斜面地探索（フィールドワーク）
	10	長崎市の斜面市街地の現状と課題 杉山
	11	福祉用具と住宅改修について 北島
	12	斜面地用歩行支援用具について 北島
	13	高齢者。各種障害者を支援のあり方① 中尾
	14	高齢者。各種障害者を支援のあり方② 中尾
	15	全体のまとめ 東
	16	授業を振り返ってのグループ討議
キーワード	障害，高齢者，支援，斜面	
教科書・教材・参考書	配付資料	
成績評価の方法・基準等	プレゼンテーションでの発表内容（40％），レポート（60％）にて総合的に評価.	
受講要件（履修条件）	特になし	
備考（URL）		
学生へのメッセージ		





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405670070Q4	科目番号	05670070
授業科目名	●人間と環境(環境問題の歴史から学ぶ)		
編集担当教員	菅原 潤		
授業担当教員名(科目責任者)	菅原 潤		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	菅原 潤, 正本 忍, 宮西 隆幸		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	suga@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	菅原潤		
担当教員TEL	095-819-2730		
担当教員オフィスアワー	火曜日14：30～16:00		
授業の概要及び位置づけ	一般に環境問題は80年代以降世界的に知られるようになったと言われているが、それ以前にも大規模な自然破壊や、これにともなう生体の健康に与える深刻な影響が報告されている。この講義ではそれらの事例を踏まえながら、ローカルな視点で環境保護を訴える立場を模索することとする。		
授業到達目標	80年代以前の環境問題の歴史について説明できる能力を身につける。		
授業方法（学習指導法）	講義形式でおこなう。		
授業内容	回	内容	
	1	イントロダクション（80年代以前の環境問題の歴史）	
	2	イースター島の教訓	
	3	人間の領域の拡大-人と森のヨーロッパ史-	
	4	ヨーロッパの拡大と環境破壊	
	5	工業化の進展と環境破壊	
	6	生体に与える環境響因子について	
	7	大気と温度と水の問題	
	8	無機イオンと内分泌攪乱物質について	
	9	環境的因子における生物学的インパクト	
	10	生体に与える環境響因子の具体例	
	11	自然的環境と人間的環境	
	12	水俣病から見た公害問題	

	13	公害問題から地域環境問題へ
	14	風景の倫理学
	15	環境と公共圏
	16	まとめ
キーワード	環境破壊、環境響因子、風景	
教科書・教材・参考書		
成績評価の方法・基準等	各講義ごとのレポートによる評価	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ		





シラバスを参照したい科目をクリックしてください。



タイトル	開講所属	時間割コード	授業科目名			主担当教員	対象年次	学期	曜日・校時	開講期間
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 旧カリ科目	201405670090Q1	●生体の構造(幹細胞と再生医療)	和	E	李 桃生	2年,3年,4年	後期	金 4	～
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 旧カリ科目	201405670090Q2	●生体の構造(性と命 (いのち))	和	E	三浦 清徳	2年,3年,4年	後期	月 4	～
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 旧カリ科目	201405670090Q3	●生体の構造(審美)	和	E	渡邊 郁哉	2年,3年,4年	後期	火 4	～
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 旧カリ科目	201405670090Q4	●生体の構造(脳とことば)	和	E	川越 明日香	2年,3年,4年	集中(前)	時間割外	～
2014年度シラバス (教養教育科目)	教養教育-教養教育 旧カリ科目	201405670090Q5	●生体の構造(生体分子の構造と機能)	和	E	郷田 秀一郎	2年,3年,4年	後期	月 4	～





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405670090Q1	科目番号	05670090
授業科目名	●生体の構造(幹細胞と再生医療)		
編集担当教員	李 桃生		
授業担当教員名(科目責任者)	李 桃生		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	李 桃生,田口 潤,堺 裕輔,虎島 泰洋		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生（クラス等）	1-4年		
担当教員Eメールアドレス	litaoshe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	原爆後障害研究所 幹細胞生物学部門		
担当教員TEL	095-819-7099		
担当教員オフィスアワー	8:00am-5:00pm		
授業の概要及び位置づけ	幹細胞と再生医療は医学と生命科学領域に非常に注目されている最先端の課題であるが、不明な点も多く存在する。生命、健康、医療、倫理、医療ビジネスなど様々な角度から、このは話題性の富む課題に直面している問題点を提起し、物事に関する分析、考え、解釈など基本的な能力を養う。		
授業到達目標	最先端の幹細胞と再生医療に関する基礎知識、研究応用の現況と問題点を伝授しながら、基本的な考えと解釈の力を養う。		
授業方法（学習指導法）	講義形式で行いますが、幹細胞と再生医療に関する専門知識の伝授よりも一般的な問題について質疑応答を取り入れ、学生の考える力、解釈の力などを鍛える。		
	回	内容	
	1	ガイダンス、幹細胞の基礎知識（李） General guidance of lecture, Basic knowledge on stem cell biology.	
	2	体性幹細胞について（李） About the adult stem cells.	
	3	胚性幹細胞について（李） About the embryonic stem (ES) cells.	
	4	iPS細胞について（李） About the induced pluripotent stem (iPS) cells.	
	5	クローン技術について（李） About the cloning technology.	
	6	グループ学習と討論（幹細胞研究の倫理問題について）（李） Group learning and discussion on the ethical problems related to stem cell researches/applications.	

授業内容	7	再生と再生医療の基礎知識（李） Basic knowledge on regenerative medicine.
	8	造血幹細胞と再生医療（１）（田口） Hematopoietic stem cells and clinical applications (1).
	9	造血幹細胞と再生医療（２）（田口） Hematopoietic stem cells and clinical applications (2).
	10	肝臓・膵臓の再生医療（堺） Stem cell therapy for liver and pancreatic diseases.
	11	消化管の再生医療（虎島） Stem cell therapy for digestive diseases.
	12	心臓・血管の再生医療（李） Stem cell therapy for cardiovascular diseases.
	13	脳・神経の再生医療（李） Stem cell therapy for brain and neurological diseases.
	14	その他の領域の再生医療、グループ学習（李） Stem cell therapy for other diseases, Group learning.
	15	学生発表と総合討論（李） Presentation and discussion.
	16	試験（李） Test
キーワード	幹細胞, 再生医療, 疾患	
教科書・教材・参考書	特になし	
成績評価の方法・基準等	授業内の質疑応答とレポート（５０％） 発表（２５％） 試験（２５％）	
受講要件（履修条件）	授業に出席でき、問題を積極的に考える学生	
備考（URL）		
学生へのメッセージ		





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月 4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405670090Q2	科目番号	05670090
授業科目名	●生体の構造(性と命（いのち）)		
編集担当教員	三浦 清徳		
授業担当教員名(科目責任者)	三浦 清徳		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	三浦 清徳,井上 統夫,吉田 敦,増崎 雅子		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-12		
対象学生（クラス等）	工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	大学病院産婦人科医局		
担当教員TEL	095-819-7363		
担当教員オフィスアワー	9時-17時30分		
授業の概要及び位置づけ	母親の卵子と父親の精子とが受精し、受精胚になる。受精胚は細胞分裂を繰り返しながら、子宮内膜に着床することで妊娠が成立する。その後、ヒトは胎芽期から胎児期までを母親の子宮内で過すことになる。出生後は、新生児期、幼児期、思春期を経て、生殖年齢に達すると次の世代を生み出す。そして、大人へと成長したヒトは、更年期から老年期を過しのちに生命の終焉を迎える。これはヒトの生命の誕生から死に至る過程であるが、医療の現場では生殖補助技術の発達と共に様々な生殖の可能性が恩恵と共に様々な問題が生じている。例えば、体外受精により、不妊症で従来の治療では自然妊娠できないヒトも妊娠することが可能になった。また、新たな生命は生殖細胞の受精による受精胚から誕生するものであったが、クローン技術の発達により、体細胞から生命が誕生しうる時代へと突入している。一方、生殖を男性と女性という性の視点から考えてみると、性同一性障害などの問題も明らかになっている。本講義では、生殖の視点を通じて、生命の発生から死に至る過程と医療の発達に伴いヒトが受けた恩恵と様々な問題について紹介する。本講義を通じていのちの意義について理解を深めて頂きたい		
授業到達目標	1) 生命の発生から死に至る過程を理解する。 2) 生殖医療の発達に伴いヒトが受けた恩恵と様々な問題について理解する。 3) 生命（いのち）の意義について理解を深める。		
授業方法（学習指導法）	講義(60分)・小テストあるいはレポート（30分）		
	回	内容	
	1	いのちのおこり	
	2	オスとしての男	
	3	メスとしての女	
	4	性の共同作業	
	5	SexとGender	
	6	性の帰結	

授業内容	7	創られた妊娠
	8	輪廻とクローン
	9	胎児という生き物
	10	生まれる！
	11	性の調節
	12	ただひとつの生命
	13	家族のきずな
	14	性の終焉
	15	いのちの行方
	16	
キーワード		
教科書・教材・参考書	なし	
成績評価の方法・基準等	全回小テストあるいはレポートを実施して評価する（100点）。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ		





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火 4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405670090Q3	科目番号	05670090
授業科目名	●生体の構造(審美)		
編集担当教員	渡邊 郁哉		
授業担当教員名(科目責任者)	渡邊 郁哉		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	渡邊 郁哉,田上 直美,辻本 真規,針貝 綾,池田 毅		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-33		
対象学生（クラス等）	工環 2 年		
担当教員Eメールアドレス	ikuyaw@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医歯薬学総合研究科生体材料学分野		
担当教員TEL	095-819-7656		
担当教員オフィスアワー	15:00 - 17:00		
授業の概要及び位置づけ	美とは何か、美学について美の歴史、美の表現についての理解を深め、実際の美に関わる医療について習得する。		
授業到達目標	医療を含め、審美について理解を深める		
授業方法（学習指導法）	学生参加型授業		
授業内容	回	内容	
	1	美とは何か（針貝）	
	2	美の歴史(1)（針貝）	
	3	美の歴史(2)（針貝）	
	4	美の表現(1)（針貝）	
	5	美の表現(2)（針貝）	
	6	審美材料(1)（渡邊）	
	7	審美材料(2)（渡邊）	
	8	審美材料(3)（渡邊）	
	9	審美材料(4)（渡邊）	
	10	審美修復(1)（田上）	
	11	審美修復(2)（田上）	
	12	審美修復(3)（田上）	
	13	ホワイトニング(1)（辻本）	
	14	ホワイトニング(2)（辻本）	

	15	ホワイトニング(3) (辻本)
	16	
キーワード	美の歴史、美の表現、審美	
教科書・教材・参考書	未定	
成績評価の方法・基準等	プレゼンテーションやレポートの提出および試験を考えてますが、受講者数によります。	
受講要件（履修条件）	特になし	
備考（URL）		
学生へのメッセージ		





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	集中（前	曜日・校時	時間割外
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405670090Q4	科目番号	05670090
授業科目名	●生体の構造(脳とことば)		
編集担当教員	川越 明日香		
授業担当教員名(科目責任者)	川越 明日香		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	川越 明日香, 橋本 優花里, 橋本 健夫		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室			
対象学生（クラス等）	医学部, 歯学部, 工学部, 環境科学部		
担当教員Eメールアドレス	hasimoto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部527号室		
担当教員TEL	095-819-2338,090-2587-5670		
担当教員オフィスアワー	お昼の時間（12：00-12：50）予め在室を確かめてください。		
授業の概要及び位置づけ	・ことばの発達について学ぶ ・ことばを制御する脳の構造を学ぶ ・種々の脳の機能不全がことばの産出や理解に及ぼす影響の違いについて知る ・ことばの問題を克服するための手段について学ぶ		
授業到達目標	① 言葉の発達について理解できる ② 脳とことばの関係を理解できる。 ③ 脳の機能不全によることばに関連した障害様相について理解できる。 ④ 障害と健常の垣根を越えて、授業で学んだことをよりよいコミュニケーションを目指した実生活に生かすことが出来る。		
授業方法（学習指導法）	集中講義形式で行います。講義と、講義に関連した実験、グループワークとプレゼンテーション、そしてグループディベート等を随時取り入れていきます。そのため、それぞれの作業に必要な内容を事前に準備することが必須となります。事前の準備の内容については提出を求め、成績評価の対象とします。また、障害様相を把握するため、視覚教材の視聴も行ないます。各授業終了時には、質問や感想を書くためのコミュニケーションカードの記入を求めます。コミュニケーションカードは、次回の授業での振り返りや皆さんの授業の理解度の確認に利用します。		
	回	内容	
	1	良い聞き手になるための方法を学ぶ 子どもの発達	
	2	ことばの発達に関するプレゼンテーションの準備	
	3	ことばの発達に関するプレゼンテーション	
	4	プレゼンテーションフィードバック ことばの発達に関するまとめ（DVD視聴）	

授業内容	5	ことばの発達に関する振り返り
	6	脳に関するプレゼンテーションの準備
	7	脳に関するプレゼンテーション
	8	プレゼンテーションフィードバック 脳の進化と発達、脳の特性と構造のまとめ
	9	脳の進化と発達、脳の特性と構造の振り返り
	10	脳の損傷がもたらす障害についてのプレゼンテーションの準備
	11	脳の障害がもたらす障害についてのプレゼンテーション
	12	プレゼンテーションフィードバック 脳の損傷がもたらす障害についてのまとめ
	13	脳の損傷がもたらす障害についての振り返り 脳とことばに関する様々なテーマに関するディベートの準備
	14	ディベートしよう
	15	脳とことばのまとめ
	16	試験
キーワード	ことば、脳損傷、認知	
教科書・教材・参考書	教科書は指定しません。講義内容に即した資料を事前に配布します。授業で紹介する障害の様相をより詳しく理解するため、視聴覚教材を利用します。	
成績評価の方法・基準等	予習による準備物を含む授業時のグループワークやグループディスカッションの成果物（30％）、予習復習を含むクイズ（15％）、コミュニケーションカードの提出を含む、授業への積極的な参加・貢献度（15％）、および定期試験（40％）、から総合的に判断して成績評価を行います。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ		





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 旧カリ科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月 4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	201405670090Q5	科目番号	05670090
授業科目名	●生体の構造(生体分子の構造と機能)		
編集担当教員	郷田 秀一郎		
授業担当教員名(科目責任者)	郷田 秀一郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	郷田 秀一郎,田中 修司,畠山 智充		
科目分類	人間科学科目		
対象年次	2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	畠山智充：thata@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	工学部1号館生体機能工学実験室3-2		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	随時（できるだけ前もってメールで問い合わせること）		
授業の概要及び位置づけ	生命を理解するためには生物を構成する様々な生体分子の構造とそれらの間の相互作用を理解する必要がある。この講義では、生命活動の基本となる生体分子の構造と機能を理解するとともに、それらの相互作用がどのように生命活動に重要な役割を果たしているかについて学ぶ。		
授業到達目標	生体の主要成分（タンパク質、核酸、糖、脂質）の特性および機能を理解し、説明できる。		
授業方法（学習指導法）	講義形式で行うが、口頭による質疑応答をできる限り取り入れ、重要な事項についての理解を深めるための補助とするとともに理解の到達度を確認する。		
授業内容	生体を構成する物質には、タンパク質、核酸、糖、脂質などがあり、それらの相互作用によって生命活動が成り立っている。なかでもタンパク質と核酸（DNA・RNA）は生命活動の最も中心的な役割を担っていることから、タンパク質と核酸を中心として生体分子の構造と機能について講義を行う。 第1回 生命科学の基礎 第2回 生体を構成している物質（アミノ酸とタンパク質） 第3回 生体を構成している物質（糖質・脂質） 第4回 生体を構成している物質（核酸） 第5回 タンパク質の構造と機能（タンパク質の構造） 第6回 タンパク質の構造と機能（タンパク質の機能） 第7回 細胞内のエネルギー代謝 第8回 遺伝情報の流れ（DNAの複製） 第9回 遺伝情報の流れ（転写と翻訳） 第10回 細胞の増殖（細胞周期） 第11回 細胞の増殖（発生・分化） 第12回 細胞の様々な機能（細胞情報伝達） 第13回 細胞の様々な機能（生体防御と免疫） 第14回 生物の進化と多様性 第15回 全授業の総括（試験を含む）		

キーワード	タンパク質，遺伝子，バイオテクノロジー
教科書・教材・参考書	「はじめて学ぶ 生命科学の基礎」 畠山智充・小田達也（編著） 化学同人
成績評価の方法・基準等	期末試験(80%)，レポートおよび授業における積極的取り組み状況（20%）を考慮して成績評価を行う。
受講要件（履修条件）	
備考（URL）	
学生へのメッセージ	

